

KKR ホテル大阪 ロビー

(1990年制作)

1階から3階まで吹き抜けとなっているホテルロビーを飾る色ガラスによる装飾壁面「COLORATO(コロラート)」は、近代日本を代表するガラス芸術作家 岩田 糸子(1922~2008)の作品。各パネルの表面には抽象的なデザインが施されていますが、中南米のインディオの意匠をイメージし、大きな壁面なので、色は単一に、パターンを複雑にして近くで見ても楽しいデザインになるよう、また、朝日が当たれば金色に光り、昼は太陽光で夜間は外部からのライトアップで、豪華な空間が創り出せるよう工夫されています。



岩田糸子 略年譜

大正11年(1922) 0歳	大連生れ。1926~29 ロンドン在住。1929~ 東京在住。
昭和10年(1935) 13歳	洋画家有島生馬に師事。
昭和24年(1949) 27歳	ガラス工芸家岩田久利と結婚。
昭和33年(1958) 36歳	ガラス制作を始める。ガラスによる照明器具を発表。
昭和35年(1960) 38歳	大型のガラスパネル作品を初めて制作する。以後各所に制作。
昭和43年(1968) 46歳	日本橋三越美術部にてガラス壁画による個展開催。 以後毎年壁面を中心にガラスの「うつわ」を含めた個展を各所で開催。
平成 2年(1990) 68歳	国家公務員共済組合連合会大阪共済会館(KKRホテル大阪)フロントロビーに幅30m×高さ10mのガラスの大壁面(コロラート)を完成。
平成 6年(1994) 72歳	米国グラス・アート・ソサエティ(G.A.S)の最高栄誉賞である「LIFETIME ACHIEVEMENT AWARD」受賞。
平成11年(1999) 77歳	新東京国際空港(現 成田国際空港)第一ターミナル北ウイング改修工事に伴い、出発ロビー中央に180㎡のガラスタワー「清らかな自然の郷」を制作。
平成12年(2000) 78歳	コーニングガラス他においてバーナー技法を学ぶ。
平成14年(2002) 80歳	初めて「岩田糸子の飾り玉」を発表。以後毎年個展にて飾り玉の新作を発表する。
平成20年(2008) 86歳	9月25日死去。